

2025年12月5日

忠岡エコサービス株式会社 様

忠岡町の巨大産廃焼却施設誘致を考える会

事業者説明会について

12月12日の事業者説明会につきまして、下記のとおり質問事項をまとめましたので、よろしくご回答くださいますようお願いいたします。

記

1. 事業名称・目的に関して、世界が資源の有効利用・廃棄物の再資源化をすすめ、脱炭素を目指している今、この計画が「循環型」(方法書P2)で「脱炭素社会」等に合致した方向(同P4)だと主張される理由をお示してください。
2. 大気質評価項目にPM2.5を加えていただきたい。また、大気質評価項目にアスベスト、PFAS類、放射性廃棄物が入っていない理由をお示してください。
3. 環境影響評価指針に世界保健機関WHOの大気質環境ガイドラインを加えていただきたい。所見をお聞かせください。
4. 焼却施設に係る次の事項についてお答えください。
 - ① ダイオキシン発生量の大きい機種焼却炉を選定されている理由
 - ② 排ガス濃度計画値の根拠
 - ③ 発電・送電設備のフロー図がない理由
 - ④ 煙突の高さ50mの科学的根拠
5. 環境影響評価の予測範囲を半径3kmとした詳細な理由をお答えください。
6. 南海トラフ巨大地震・津波・高潮・洪水・地盤沈下・液状化についての環境影響評価が不十分であり、全くない項目もある。線状降水帯による想定外の集中豪雨被害も起こってきている。海洋調査のない理由も含めてお答えください。
7. 前記6に関して、しっかりとした施設・設備・方策が必要と思われます。強靱な焼却施設・高性能な大気汚染物質除去装置(方法書P17)・ばいじん燃えカスの処理・リサイクル施設(同P18)・防潮防水・防震など、所見をお聞かせください。
8. 産業廃棄物から目視で水銀、PCBなどを点検・除去する方法をお示してください。
9. 「可能な限り」(P26)とか「留意する」(P27)などのようなあいまいな表現が散見されますが、「方法書」として、明確な所見をお聞かせください。